



塩の道的一部分



塩の道道標



塩の道から太平洋を望む



男和佐羅比山頂

我が署の名所

『塩の道（ベコの道）』Ⅱ

岩手県野田村

当署管内には、久慈市山形町平庭から野田村に至る「塩の道」と呼ばれる道があります。

その昔、野田地方で製塩された塩は牛の背に乗せられ、盛岡市や沢内村（西和賀町）、遠くは秋田県鹿角市まで運ばれたことから「ベコの道」とも云われています。

その道の多くは、現在、主要地方道野田山形線となり、一部は歩道のまま跡を留めています。また、沿線では至る所に「塩の道」の道標を見つづけることができます。

起点である野田村十府ヶ浦には石標、久慈市山形町には案内図、その他数力所に標柱があり、国有林内の白石峠には、その一つである一里塚の標柱があります。

これまで先人が牛と共に何百年も踏み回めた生業の古道であり、沿岸と内陸を結び「文化交流の道」です。

森林の中の澄んだ空気の下、森林浴の効果（リラククス効果等）を肌で感じ、さらに、振り返ると野田湾と三崎半島を望むことができますので、往時を偲びながらゆっくりと「塩の道」を訪ねてみてはいかがでしょうか。

そして、散策の後は「道の駅のだ」で販売している「のだ塩ソフトクリーム」をご賞味のうえ、おみやげに「のだ塩製品」がお勧めです。

三陸北部森林管理署 久慈支署

〒026-0001
岩手県久慈市夏井町大崎14-12
TEL 0194-5333391
FAX 0194-5212653

